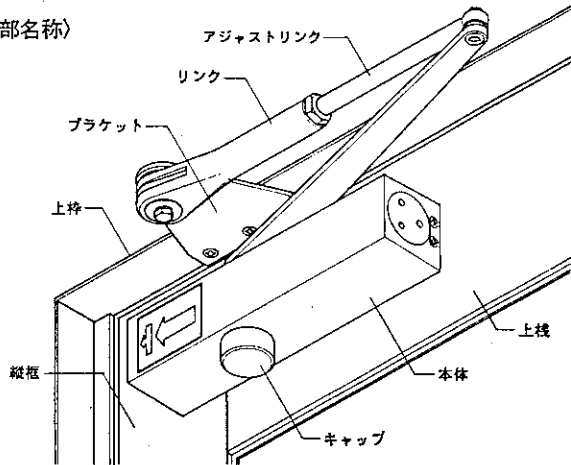


■お願い………

- このクローザは、室内側に取付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で示してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。
- ドアにクローザ取付け穴があいていない場合は、同梱の型紙を使って取付け穴をあけてください。

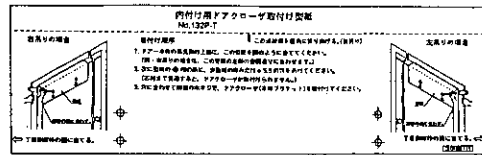
■各部名称および速度調整ねじの向きについて

(各部名称)



(型紙)

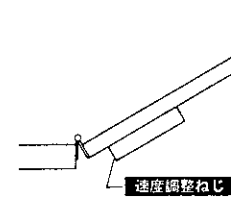
●フラッシュドア用型紙



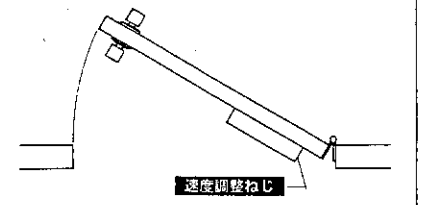
(速度調整ねじの向き)

- このドアクローザは、左右勝手兼用です。取付けの際、速度調整ねじを吊元側にしてください。

(右吊元の場合)



(左吊元の場合)



■取付け順序

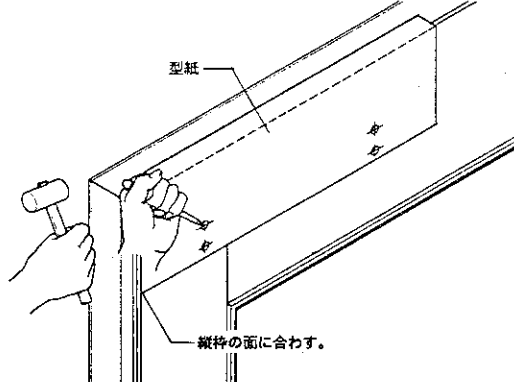
1. 取付け位置の決め方

(ドアに取付け穴がない場合)

●フラッシュドアの場合

- ①型紙を指定の位置に当てます。
- ②取付け穴個所にポンチングします。
- ③ドア本体(ドアクローザ取付け部)にφ5.5の穴をあけます。

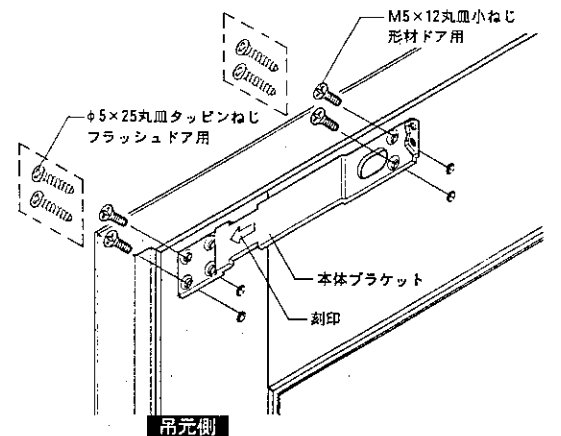
※この時、ドア本体の穴は、ドアの表面材だけにあけてください。内部の芯材まであけるとねじがきかなくなりますのでご注意ください。



2. 本体ブラケットの取付け

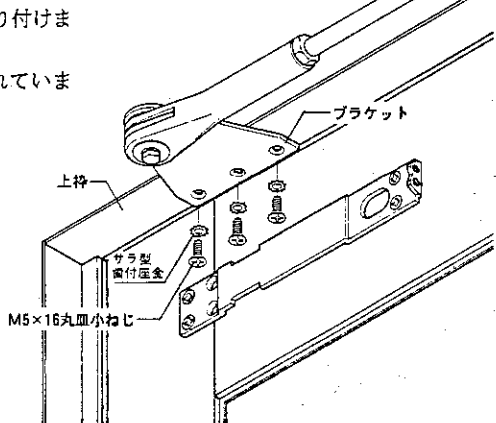
- ①本体ブラケットをドア本体に取り付けます。(ロック側のブラケット取付け穴を先にねじ止めします。)その際、本体ブラケットの刻印(≡印)を吊元側にして取付けてください。※取付けねじは、ドア本体の種類によって使い分けます。
- ※本体ブラケットの丁番側取付け穴は、ドア本体の種類によって使い分けます。

ドアの種類	形材ドア	フラッシュドア
ねじの種類	丸皿小ねじ M5×12	丸皿タッピンねじ φ5×25



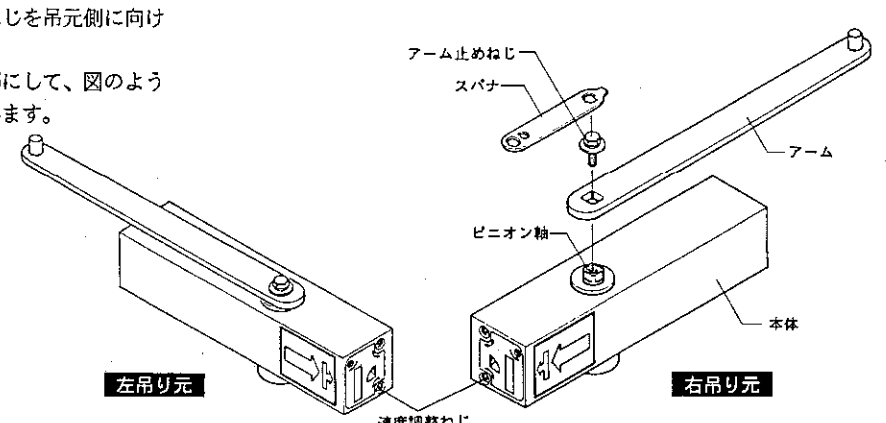
3. ブラケットの取付け

- ①ブラケットを上枠または、無目に取り付けます。
- ※取付け穴はあらかじめ枠に加工されています。



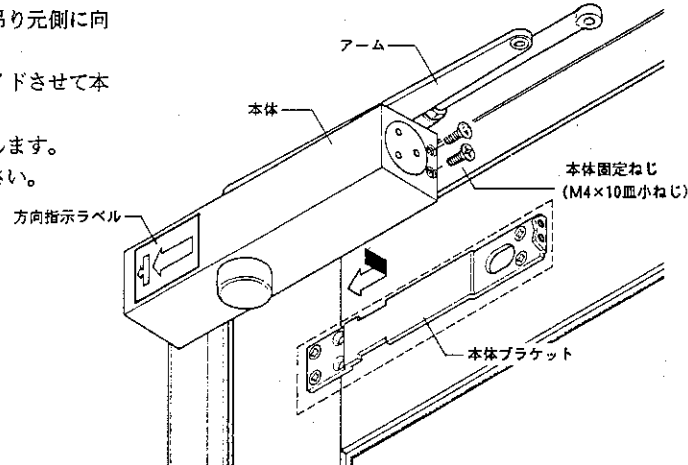
4. アームのクローザ本体への取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②アームの長手方向を戸先側にして、図のように、ピニオン軸にはめ込みます。
- ③アーム止めねじをしっかりと締め付けてください。



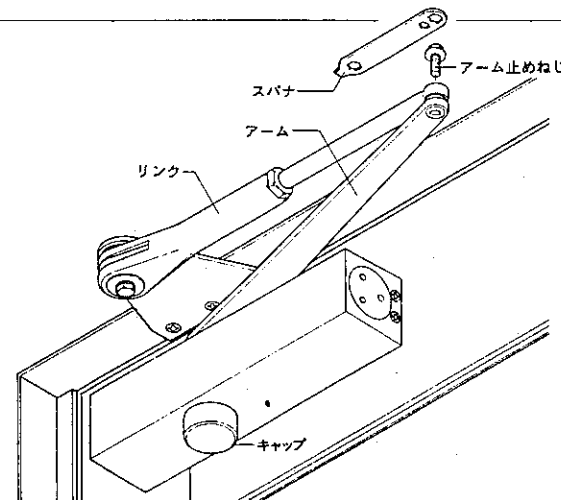
5. クローザ本体の取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊り元側に向けます。
- ②クローザ本体を図のようにスライドさせて本体ブラケットにはめ合わせます。
- ③戸先側から本体固定ねじで固定します。
- ④方向指示ラベルをはがしてください。



6. アームの連結

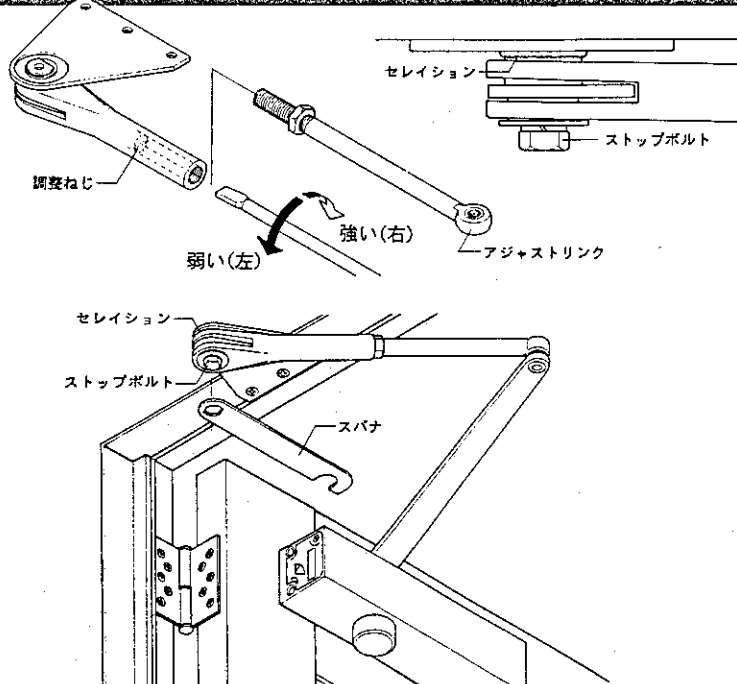
- ①リンクの先端の穴にアーム先端のピンをはめ合わせ連結します。
- ②アーム止めねじをしっかりと締め付けます。
- ③キャップは下からバチッとはめてください。



■ストップ強さの調整

■ストップ角度の調整

- ドアをストップさせる角度まで開き、ストップボルトをスパナできつく締め付けます。締め付ける時は、ストップ装置のセレイション部のかみ合いを確認してください。かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストップボルトを締めてください。ストップ装置の締めつけ力が不足していると、ストップ装置の故障の原因となります。
- あらかじめストップの強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているアジャストリンクを外し、調整ねじをドライバーで左右いずれかに回転します。右に廻すとストップ力は強くなります。左に廻すとストップ力は弱くなります。
- ※調整ねじは左右1回転以上まわさないでください。



■ドア(扉)閉じ速度の調整

1. 閉じ速度の調整

- ①閉じ速度は、第1速度区間及び第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
 - ②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで4~6秒位です。
- ※調整ねじは左へ1回転以上回転させないでください。
2. ラッチングアクションの調整
- ※ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置手前(約3°)まできた時点で、ドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
- ①調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。
- ※調整ねじは左へ2回転以上回転させないでください。

